

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 101 号

柔道競技におけるスコア獲得に有効な投技の戦術行動

(Tactical Actions of Nage-waza Effective for Scoring in Judo)

三宅 恵介 (みやけ けいすけ)

博士 (スポーツ健康科学)

論文内容の要旨

本研究は、記述的ゲームパフォーマンス分析を用いて、柔道競技におけるスコア獲得に有効な投技の戦術行動を明らかにし、コーチングの実践現場に有用な知見を提供することを目的とした。一流選手が出場する国際大会（2020年開催）の男子3階級（60kg級と81kg級、100kg超級）全441試合を対象に、全ての投技施技における①投技の種類、②投技の連絡変化の有無、③施技時の取と受の組み手を分析し、スコアの有無に関連する戦術行動およびスコア獲得に影響を及ぼす戦術行動の組み合わせについて階級別で検討した。

その結果、スコアの有無に関連する戦術行動は、いずれの階級においても投技の種類と連絡変化の有無であることが明らかになった。また、スコア獲得に影響を及ぼす戦術行動の組み合わせは、いずれの階級においても変化技と手技であり、階級によっては変化技と手技以外の組み合わせも有効であることが明らかになった。一方、手技に分類される隅落と変化技の組み合わせは、すべての階級で最も高いスコア比率を示した。

本研究によって、階級の違いにかかわらず、相手の投技の施技中もしくは施技後に施す変化技、とりわけ手技の隅落がスコア獲得に有効な戦術行動であることが初めて示唆された。これらの知見は、現況の柔道競技において、ひとつの投技の追求のみならず、投技を相手との相対的な戦術行動として捉えることの重要性を示すものであり、コーチングの実践現場での具体的な指導に役立つことが期待される。